

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年9月9日(土) 午後2時～3時30分
場 所 江川会館
参加者 21人



主な意見等

参加者 大井東中学校の前に手押し信号がありますが、信号を守らない自転車が
多いので信号機を増設してほしいです。

市 長 信号機を設置するのは警察の所管なので要望があったことを警察へお
伝えします。また市も道路管理者として交通安全対策を考えていき
たいと考えています。

参加者 江川緑道は一方通行ですが、自転車が逆走してくることがよくあり
ます。自転車も車両だということを認識できるような標識を設置して
いただけないでしょうか。

市 長 一方通行の場合ですと自転車を除くような標識が多いのですが、江川
緑道の安全対策ということで改めて検討したいと思います。

参加者 住み始めて58年が経ちましたが、今はとても素晴らしいふじみ野市
になってとても嬉しく思っています。この地域の人たちもとても暖か
くて住みやすい市だと感じています。また、市の広報や町会日より、

亀小だよりなども毎回楽しく読ませていただいていますし、ふじみん号や私たち高齢者のためにぴんしゃん体操などを行っていただき本当に感謝しております。色んなところで、色んな役員の方たちにお世話になって安定して暮らすことができている。皆さんいつも本当にありがとうございます。

市長 有難いお言葉ばかりいただきありがとうございます。もっともっと住みよい街にしていければと思っています。

参加者 江川に蓋をして緑道になったのは本当に良かったなと思っています。ただ新河岸川の水質や環境への影響、地球温暖化や先ほど出た自転車の交通マナーなどのことを考えますと、コンクリートの蓋を外して川に戻すことも検討した方が良いのかなと考えております。

市長 新河岸川も清らかな川とは言い難い状況ですが、悪い時と比べれば今は水質なども大分改善しています。新河岸川は埼玉県の管理でして、土手の除草作業ですら回数を制限されていたりします。将来的にどうするか考えていければと思います。

参加者 消費活性化クーポンを配付いただけるのは非常に助かるのですがもっと良い方法があればなと感じています。

市長 3,000円のクーポン券が配られると市報に出ていたと思いますが、「消費活性化」というのは出来れば地元で買い物をしていただきたいという思いがあります。それと合わせて、物価高騰対策として皆さんに公平に、平等に渡るように所得制限などを設けずにクーポン券という方法にしました。若い方からすると電子マネーにして欲しいという要望もありますが、電子マネーに馴染みが無いお年寄りもいらっしゃいますのでクーポン券の配付とさせていただきます。また、便利な大型店だけにして欲しいというお声もありますが、今まで頑張ってきた地元の商店なども厳しい状況にありますので地元商店街で買い物していただきたいというのが本音でもあります。

参加者 11月にステラ・ウェストで老人クラブの演芸大会があるのですが、歩

いて行かないといけません。以前はバスを市から借りたと思うのですが、市が所有しているバスはどういう時に使えるのでしょうか。

市 長 合併する以前は旧市町でバスを持っていましたが、バスの運転手を市で雇用しておくより必要な時にバス会社に委託した方が経費も節約できるため現在は市でバスを持っておりません。交通手段の問題は他の自治体でも課題となっています。演芸大会などの時を含め、移動手段の確保などを考えていきたいです。

参加者 先ほど企業誘致の話がありました。企業誘致をして活性化を目指すのか、ベッドタウンとして市を発展させていくのか、どうお考えですか。

市 長 企業誘致を最優先とは考えてはいません。ふじみ野市はベッドタウンとして発展してきた街です。時代が変わっても人と人の出会いや繋がりが、あったかい街を作っていきたいと考えています。最近ですと一世代おいて市外から転入してくることも多くなっています。ふじみ野市を選んでいただき新たな循環が生まれると良いなと考えています。

参加者 町会の運営は厳しい状況にあります。市役所や色々な団体から町会に依頼やお願いごとが沢山あり、その影響もあって町会の加入者が少なくなっています。各町会の状況を見ながら市からの依頼やお願いごとを調整するよう検討していただけないでしょうか。

市 長 皆様からお預かりした税金の中で行政サービスを提供していますが、市役所が地域にお願いしていることを市役所で対応すると、税金をかけて職員を増やすことになります。ただ地域の方をお願いしていることの中には、地域の方にしか出来ないこともあります。市役所からの仕事というのは、市がやりたいからお願いしているというものではありません。市役所は皆さんから「これをやって」と要望があったことを代行している組織です。道路や図書館なども皆さんの財産です。作る時も維持管理する時も、全て皆さんの税金から出しています。皆さんの財産や税金の管理を委ねられて代行しているのが市役所です。市長の私が言ってしまっただけは怒られてしまいますし、理想の話となりますが、地域の人たちが「公園の管理などは私たちがするから、浮いた

お金をお年寄りや子どもに使ってあげて欲しい」と言ってもらえるような街全体でありたいなと私の本音として考えています。

参加者 市の職員の数も限られる中で、町会の役割も必要だとは理解できるのですが、東久保町会の平均年齢も70歳近いです。現在は会長が欠員となっていますし、役員の成り手もない状況です。町会の立場としてはとても苦しく、町会の活動が萎んできてしまっています。地域によって違うかとは思いますが、東久保町会のそういった状況を見て市からの依頼の量などを考えていただきたいなと思っています。

市長 大なり小なりどこの地域でも役員さんの成り手がいないという状況があります。他の町会では役員さんの負担を減らすために役員の人数を5人から10人に増やすなど一人当たりの負担を減らす工夫を取っているところもあります。東久保町会さんも諸事情があるかと思います。歴代の会長さんも大変苦労されてこられたのだと思います。時代も変わって役員さんの成り手も中々いないかもしれませんが、少しずつ工夫をして町会活動を続けられるような方策を市でも検討していきたいと考えております。

今思いついたことですが、市内在住の職員に協力してもらい、地域を支援するコーディネーター職員を検討してみてはどうかと考えています。

参加者 色々な会議が市役所で開催されますが、平日は仕事があるため、若い人が役員に成りたがらないという事情があります。開催する日などを検討してもらえないでしょうか。

市長 平日の会議への出席が難しいということであれば、開催時間を夜にしたり、土日したりと工夫の余地があるかと思います。また、とある町会さんの例ですが、会議の出席者も会長に限らず、役員さんが交代して出られている町会さんもあります。また、他の町会さんですと「できる人が、できることを、できる範囲でやれば良い」というスローガンを掲げている町会さんもあります。完璧を目指すのではなく、出来る範囲で出来ることを市でも支援できればと考えています。

参加者 防災訓練の救護所が大井総合支所に設けられますが、例えば電柱がこの地域で倒れてしまった場合、支所まで行くことが難しくなってしまいます。地域の特性を考えて亀久保小学校に救護の機能を設置するよう検討していただけないでしょうか。

市長 ふじみ野市は県内でも率先して「見せる訓練」ではなく「実践型の訓練」を行っています。救護所の話ですが、訓練では大井総合支所と保健センターに救護所を設置するというところでやっていますが、実際の災害時にはお医者さんが救護所に来られるか不透明なところもあります。災害が起きた時に、皆さん近場のお医者さんの戸を叩いてお医者さんを頼ると思います。そうなった時にお医者さんも近所の方を置いて救護所に直ぐに来られるとは限りません。お医者さんが来られるようになった時や医療派遣で来られるお医者さんの目安の場所として、大井総合支所や保健センターを救護所として位置付けているところです。避難所や救護所も進化していく可能性がありますが、医師不足もあり、全国的に見ても避難所に救護機能を付けるというのうは実現が困難なことかと思いますが、ご意見として今後の参考にさせていただければと思います。